

平良の漲水一帯の遺跡から見つかった馬の骨の年代測定より、14世紀以降と推定されています。

貢納馬としての琉球馬・宮古馬

中国に上納した琉球馬は推計5,544頭といわれています。また、宮古馬は江戸幕府に御用馬として採用され、宮古の馬場は首里王府が手厚く管理していました。



江戸の献上馬の行列のようす
(『宝永七年寅十一月十八日琉球中山王両使者登城行列』国立公文書館所蔵より切り抜き)

馬匹去勢法、適応除外になる

当時、大きい軍馬を必要としていた政府は、在来馬をすべて去勢するよう法律で決めました。しかし、去勢した馬は忍耐力が落ちて畑仕事に支障が出たり、競争馬としての価値が下がるということで島民の反発が大きくなりました。島民の意向を受けた自治体の後押しもあり、宮古は早々に除外区域となりました。

宮古馬の渡来 — 14世紀

中国に琉球馬 — 1374

として上納
薩摩の琉球侵攻 — 1609

江戸幕府に — 1634
13頭上納

人頭税施行 — 1637

1681

馬場を設置 — 1697
(現在の馬場団地)

1850

廃藩置県
(琉球処分) — 1879

人頭税廃止 — 1903

1916

馬匹去勢法施行 — 1916

馬匹去勢法適用 — 1922

除外区域になる

宮内庁が皇太子 — 1935

の乗馬用に宮古

馬3頭を購入

日中戦争勃発 — 1937

第二次世界大戦勃発 — 1939

飼育数1万頭超 — 1940

家族の一員として大切に飼われていた

琉球王朝時代／江戸

明治

大正

昭和

昭和

1941 ● 太平洋戦争勃発

1945 ● 終戦

1949 ● 馬匹去勢法廃止

1977 ● 全島調査で14頭のみが宮古馬として保存価値が高いことが分かる

1978 ● 太平号寄贈
熱帯植物園で飼育開始(メス馬3頭、オス馬1頭)

1980 ● オスの仔馬誕生
宮古馬保存会発足

1983 ● 太平号を剥製に

1991 ● 県の天然記念物に指定

2024 ● 飼育数48頭に

雑種化と機械化で激減

戦中、軍馬にするために大型馬との交配が進み、また戦火の犠牲になったり食料にされ、宮古馬の数は次第に減っていきます。戦後、農具の大型化とともに雑種化が進み、さらに機械化によって役割が減ったことで激減してしまいました。

希望の光「太平号」

市が宮古馬存続のために繁殖可能なオス馬を探していたところ、沖縄島にいた1頭の宮古馬が市に寄贈されました。「太平号」と名付けられ、無事繁殖に成功するも、老齢だったためわずか5年で生涯をとじました。宮古馬保存会発足に大きく貢献したこともあり、はく製化されることが決まると、関係者約2000人から寄付が集まりました。現在、太平号ははく製と骨格標本として博物館に保管・展示されています。



生前の太平号 (1982.12)

宮古馬保存へ向けて

宮古馬は一時、7頭まで減少しました。1985年に粟国島で宮古馬と同じ系統の馬が数頭見つかり、市は日本馬事協会の協力のもと、オス2頭メス7頭を5年かけて宮古に里帰りさせました。その後1991年に増殖計画が本格的にスタートしましたが、遺伝子が近い馬同士の交配が原因で、仔馬が病弱だったり死産になる問題が出てきました。そのため、2022(令和4)年から、DNA分析を用いて遺伝子が遠い馬同士を交配させる計画を立て、現在飼育数100頭を目標にかかげて活動しています。

ザン、ヨナタマ、ジャン、ザカムヌ

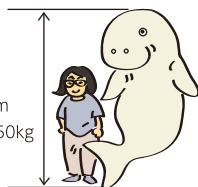
ジュゴン



国指定天然記念物(1972)
国際希少野生動物植物種(1993)
環境省RL(2020)絶滅危惧ⅠA類
沖縄県指定希少動植物種(2021)
沖縄県RDB(2017)絶滅危惧ⅠA類
写真提供:鳥羽水族館

沿岸の湾内やサンゴ礁周辺に生息し、砂地に生える海草類だけを食べます。成熟するのに6年~17年かかり、寿命は70年ほど。南西諸島が東側の分布の北限となっています。

体長 2.4~3m
体重 400~450kg



ジュゴンの生態

ふだんは
時速3km程

逃げる時は
時速2~30km!

エサを食べた
跡が道の
ように残る

- ・1回の呼吸で3~5分潜る
- ・リュウキュウスガモやウミヒルモなどの海草が大好き
- ・藻場の水深が1~1.5mになるタイミングがご飯タイム
- ・40mほどの長い腸で5日~10日ぐらいかけて消化する
- ・怖がりなのですぐ逃げる、騒音がきらい

ジュゴンとマナティーの違い

どちらもカイギュウ目に属するゾウに近い生物で草食。

ジュゴン 海にしかいない

川や海にいる

マナティー

浅い水域で浮草などを食べる



海底に生えた
海草を食べやすい
口の形

↑
セリ込みの
入った三日月型。
速く泳げる

前から見ると
けっこう違う

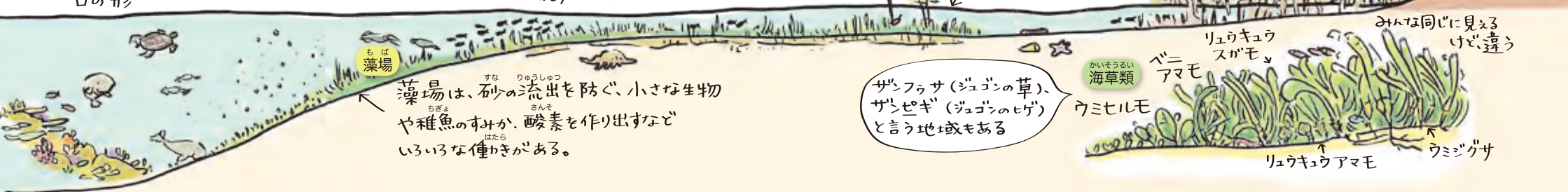


↑
浮き草を
食べやすい
口の形



↑
エサをつかむ、
地面をはうのに
べんり

↑
うちわの
ような丸い
形。こまわり
がきく



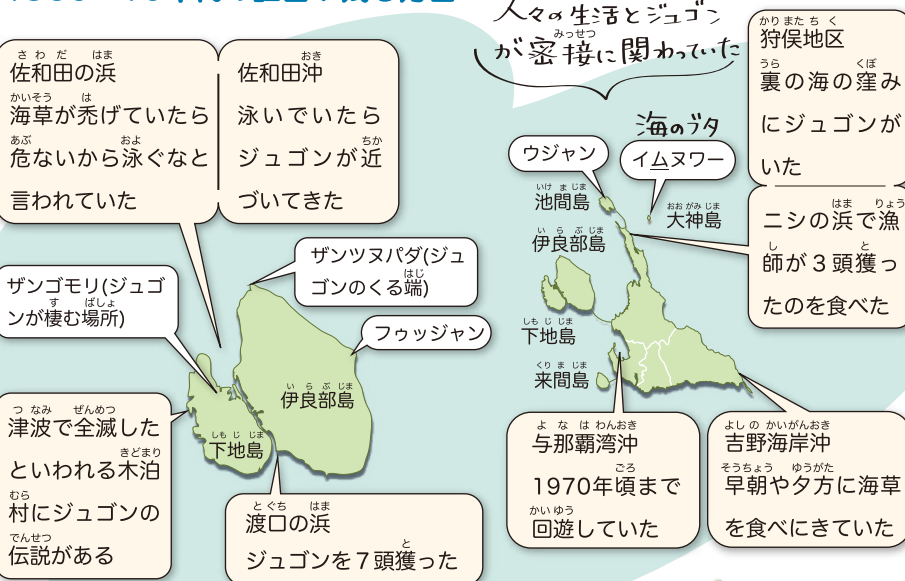
藻場は、砂の流出を防ぐ、小さな生物や稚魚のすみか、酸素を作り出すなどいろいろな働きがある。

歴史から見るジュゴン

ジュゴンは、遺跡からも骨が出土し、明治から大正にかけて捕獲していた記録がありますが、1965年に魚網にかかった個体を最後に、宮古諸島近海での正式な生息記録はありませんでした。ところが、2019年に伊良部島近海で大型ほ乳類と思われる生物が目撃さ

れ、食み痕やフンが見つかりました。そしてフンからジュゴンのDNAが検出されたことで、南西諸島で絶滅したとされていたジュゴンが生息している可能性が高まりました。それ以降、食み痕や目撃情報はありますが、まだ姿を撮影することはできていません。

1960~70年代の証言や残る方言



つい最近まで
人々の生活とジュゴン
が密接に関わっていた

かりまたちく
狩俣地区
うら
裏の海の窪み
にジュゴンが
いた

はま
りよう
ニシの浜で漁
師が3頭獲っ
たのを食べた

海のグタ
イムヌワ
ウジャン
池間島
伊良部島
大神島
下地島
来間島
与那覇湾沖
1970年頃まで
回遊していた
吉野海岸沖
早朝や夕方に海草
を食べにきていた

佐和田の浜
佐和田沖
泳いでいたら
ジュゴンが近
づいてきた

ザンツツバダ(ジュ
ゴンのくる端)
ザンゴモリ(ジュゴン
が棲む場所)
フウツジャン

津波で全滅した
といわれる木泊
村にジュゴンの
伝説がある
渡口の浜
ジュゴンを7頭獲った

藻場が開発され森林減少
農薬などで海草減少...

ザンフラサ(ジュゴンの草)、
ザンセギ(ジュゴンのヒゲ)
という地域もある

ベニアマモ
ウミヒルモ
ウミグサ
リュウキュウアマモ

ネズミ・モグラ類

宮古諸島で見られるネズミはすべて外来種です。
人間の近くで生活をしています。

家のネズミは
ヤークムヌ

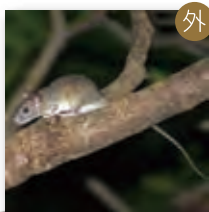
火田のネズミは
パリュムヌ



外 ハツカネズミ

頭胴長 9cm
尾長 8cm

年中繁殖し、1回で
5〜6匹産む。種子
や穀物類を好む。



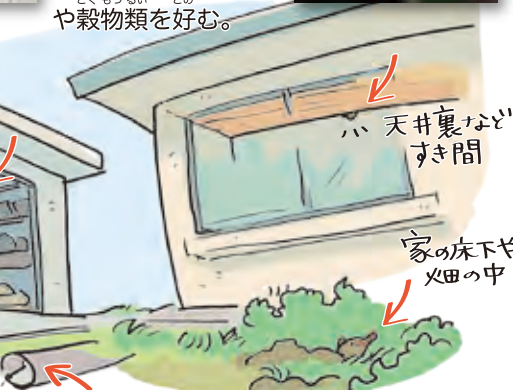
外 クマネズミ

頭胴長 23cm
尾長 26cm

壁登りや綱渡りが
得意。種子や芋類
を好む。

倉庫や
火田に掘った
穴など

排水管、
商店街など



名前がネズミ
だけど実はモグラ

目のわるいネズミ
ミバギザカ、
ミバギジャカ

ジャコウネズミ

頭胴長 16cm
尾長 8cm



外 ドブネズミ

頭胴長 28cm
尾長 22cm

夜行性で泳ぎが得
意。肉や魚を好む。



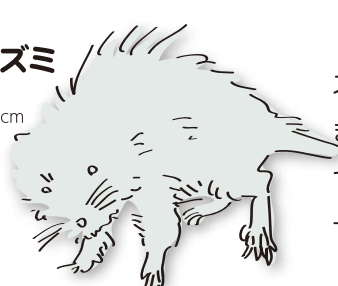
外 モグラの仲間。昆虫

類やミミズ、残飯な
どを好む。甲高い鳴
声と独特の臭いで嫌
われている。

昔は大ネズミがいた！？

ミヤコ ムカシネズミ

頭胴長 推定60cm

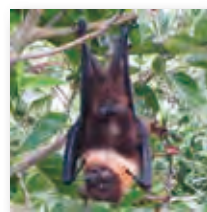


約2万6000年前〜2万8000年前のネ
ズミの化石がピンザアブで見つかり
ます。クマネズミの仲間としては最大級
で、同じ時代に生きていた大型ハブのエ
サだったと考えられています。

コウモリ類

ほ乳類の中で2番目に種類数が多く、日本に37種います。

宮古諸島では3種が確認されています。

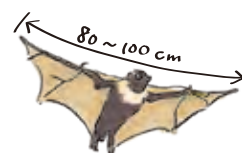


ヤエヤマ オオコウモリ

別名フルーツバット

頭胴長 20cm
前腕長 12〜13cm

沖縄県RDB(2017)
準絶滅危惧



エコーロケーショ
ンはせず、視覚に
頼るので、眼が大
きく耳が小さい。

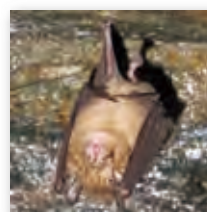
※エコーロケーション(反響定位)
超音波の反射で
位置や距離を測る



大型のコウモリで、クビワオオコウモリ
5亜種のうちの1種。日中は高木にぶら
下がって休み、夜に主に果実を食べ、葉
や花の蜜も食べる。花の受粉や種の散布
を助け、森林の維持に役立っている。



宮古には小型のコウモリがない？



ミヤコ コキクガシラ コウモリ

※写真はオキナワコ
キクガシラコウモリ
撮影：沖縄島恩納村

環境省(2012)絶滅

ねぐらの洞窟とエサ場の森林がある
環境に多く生息していた。1971年
に10個体が確認されたのを最後に
記録がない。

以前はふつうにいたのに
最近見ない...



アブラ コウモリ

頭胴長 6cm
前腕長 4cm

撮影：沖縄島豊見城市

沖縄県RDB(2017)絶滅危惧Ⅱ類

日中は屋根裏や建物のすき間で休み、
夜に畑や公園などで飛び回りながらエ
サをとる。1日に約500匹の蚊などの
小型昆虫を食べる。



宮古諸島は沖縄島と台湾のほぼ中央に位置し、渡り鳥にとってちょうどよい中継地点になっています。そのため、観察できる鳥のほとんどは渡り鳥です。2024年12月時点で、留鳥27種、夏鳥8種、冬鳥88種、旅鳥72種、迷鳥169種の21目65科360種が確認されています。この数は、日本国内で確認されている鳥類の約55.9%にもなり、国内有数の野鳥保護区やバードウォッチャーの聖地とされる場所よりも多いと言われています。

- 夏** 夏鳥：夏に渡ってくる鳥
- 冬** 冬鳥：冬に渡ってくる鳥
- 旅** 旅鳥：季節ごとに旅をする鳥
- 留** 留鳥：一年中同じ場所で過ごす鳥
- 迷** 迷鳥：台風や偏西風などで飛ばされて迷い込む鳥
- 北** 北限：分布域の北の限界
- 長距離を移動
- 島づたいで移動



たびどり
旅鳥



環境省RL(2020)絶滅危惧Ⅱ類
沖縄県RDB(2017)絶滅危惧Ⅱ類
宮古島鳥保全種(2005)

翼開長
全長 : オス47cm
メス51cm
翼開長 : 105~115cm

ほうげんめい
方言名

タカ

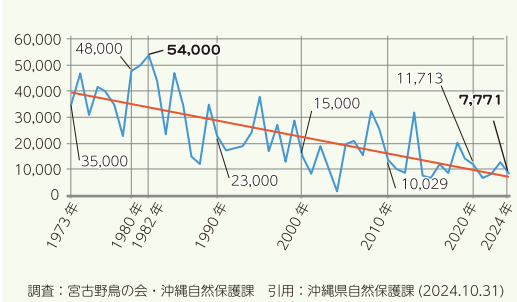
サシバ旅

春に日本列島へ渡り、里山で繁殖する渡り鳥です。9月中旬～10月上旬の寒露の頃、越冬のため南の島々へ向かう途中、休憩で宮古諸島へ飛来します。昔は留まる木が足りなくなるほどの大群が訪れ、空をおおいつくしたと言います。現在は宮古野鳥の会を中心に個体数カウントや観察会、講演会、保護林設置などの活動が行われています。

ほこかつどうあゆ
保護活動の歩み

- 1964 狩猟法改正。罾でサシバを捕るには免許が必要になる
- 1972 本土復帰でサシバが保護対象に
- 1977 10月を「サシバ保護月間」と定め保護活動をするが、密猟は減らず
- 1988～ マスコミや警察の協力で保護をPR。環境教育の一環として保護活動を展開
- 1993 「第1回サシバは友だちフォーラム」「サシバは友だちサミット」を開催。保護への意識が高まる
- 2000～ 密猟がほぼなくなる
- 2019 「第1回国際サシバサミット」開催地：栃木県市貝市
- 2021 「第2回国際サシバサミット」開催地：宮古島市
- 2023 「第3回国際サシバサミット」開催地：台湾
- 2024 「第4回国際サシバサミット」開催地：フィリピン

ひらいすう
サシバの飛来数(1973～2024年)



こがた
ハトより小型のタカ

タカヌツカイビー
タカヌピヤーツカイ



アカハラダカ旅

全長30cm

秋の白露の時期にサシバより先に渡ってくる

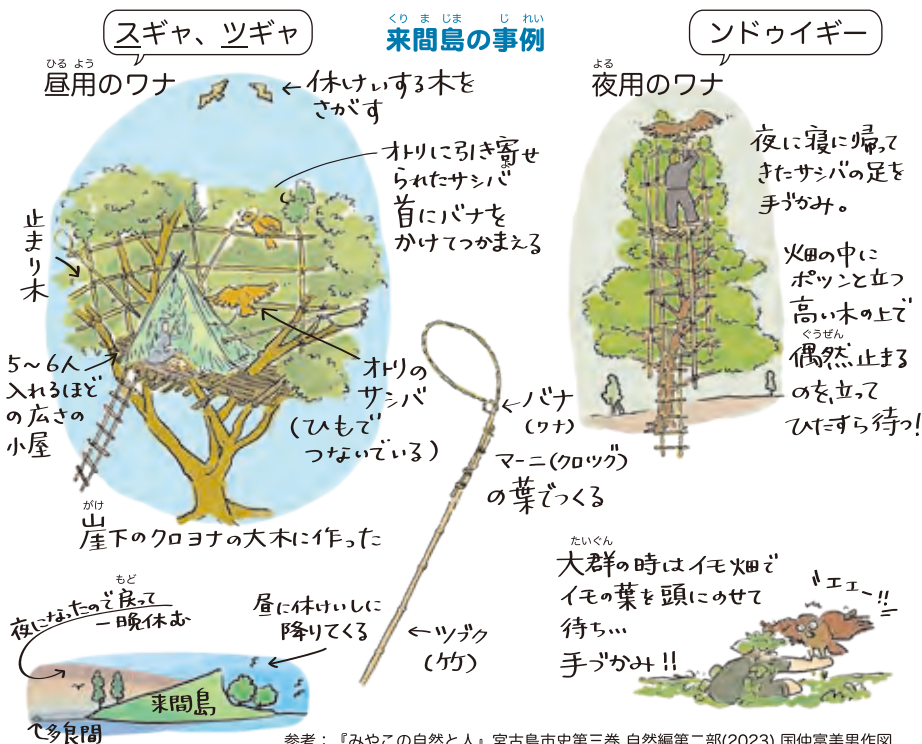
ため、宮古の人々はアカハラダカを「サシバの使い」と呼んでいた。

サシバと宮古の人びと

むかし、食料不足や重い税に苦しんでいた島民にとって、サシバは年に一度のごちそうであり、貴重な財源でした。そのため、渡りのシーズンはサシバ専用のワナを作り、仕掛ける場所も入札で決めるなどしていました。サシバが思うように獲れない日は、つかまえたサシバの美しさや数を自慢したり、おいしい調理法について話し合ったりしました。

ワナは多い時で1,500～2,000個も作られ、ひとつのワナで平均60羽前後が捕獲されたと言われていました。伊良部地域で、運動会の練習で太鼓を鳴らしたら、サシバが警戒するから鳴らすな！と住民が抗議したこともあるほどでした。

サシバとの関わりは生活の一部であり、宮古独自の文化として根づいていました。

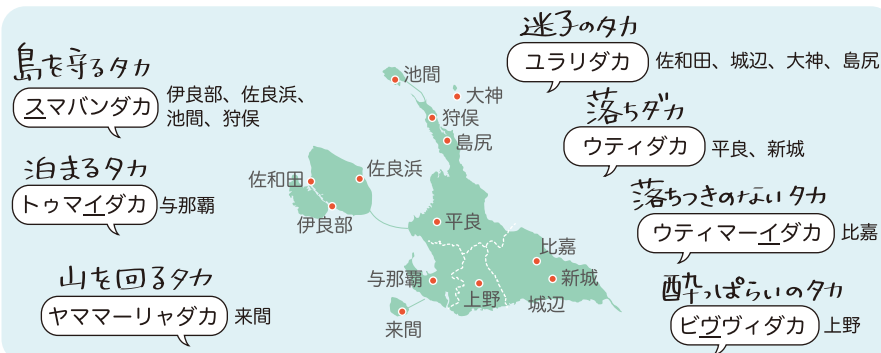


目の色で値段が違った！？

目の色と縞模様で、若鳥と成鳥の区別がつけます。アカミーは囃子として使われ、キムミーは美味しいとされ、高く売れました。

越冬サシバ

宮古諸島は渡りの中継地点ですが、中には南へ移動せずに宮古で冬を越すサシバもあり、地域によって呼び名が違っていました。



わらべ歌 (平良地域)

サシバが飛来して上空を旋回するのを見ると、子どもたちはいっせいにタカの歌を歌いました。

タカドーイ デンゴ デンゴ タカだよ
ウヴァガ ヤーヤ ンザガ おまへの いえは どこだ
タラマヌ パイカタヌ たらま 多良間の 南のほうの
ドゥフキギーヌ スタンドウ デイゴの木の したに
ヤーヤ ツッフィ ビジュウイ いえを つくって すわっているよ



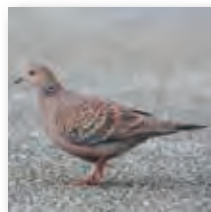


ウシ=ウス
ウスバトウ
ヨナグニ
カラスバト
全長40cm

国指定天然記念物(1971)
国内希少野生動植物種(1993)
環境省RL(2020)絶滅危惧 I B類
沖縄県RDB(2017)絶滅危惧 I A類
宮古島市保全種(2005)

くび むね せ
首から胸、背
なか むらさき
中にかけて紫
みどり こう たく
や緑色の光沢

のある羽をもつ大型のハト。個体数が少
なく警戒心が強いいためなかなか見られな
い。声を頼りにすると探しやすい。

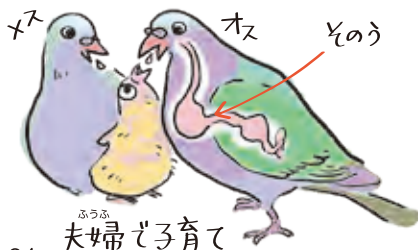


ンバトウ
キジバト
全長33cm

からだ
体の色がキジのメ
スに似ていること

から名がついた。よく聞こえる鳴き声
は、オスの求愛か、なわばりを主張す
る声。

ピジョンミルク



夫婦で子育て



△バトウ
キンバト
全長25cm

国指定天然記念物(1972)
国内希少野生動植物種(1993)
環境省RL(2020)絶滅危惧 I B類
沖縄県RDB(2017)絶滅危惧 I B類
宮古島市保全種(2005)

しよ=とう はんしよく
宮古諸島を繁殖の
ほくげん こがた
北限とする小型の
うつく
美しいハト。

くちばしは赤、頭は白、背中茶、羽
は光沢のある緑色。毎年初夏に大野山
林や雑木林で子育てをする。

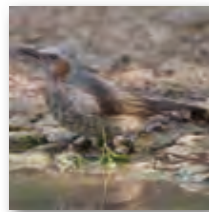


アオバトウ
チュウダイ
ズアカ
アオバト
全長35cm

からだ
体は緑、くちばし
は青、眼は赤。

鳴き声が縦笛のような音に聞こえるた
めシャクハチバトとも呼ばれる。台湾
に生息する種は実際に頭が赤い。

ハトは「そのう」と呼ばれる器官でタ
ンパク質や脂肪を多くふくむ物質を生成
し、ヒナに与えます。オスもメスも作る
ことができるため、一年中繁殖すること
ができます。



ミヤギビジュマ
ヒヨドリ
全長28cm

こんちゅう
夏は昆虫、冬は
はな の蜜や果実が

主食。カタツムリや葉菜なども食べる
食いしん坊。世界的には限られた地域
にしか生息せず、実は珍しい鳥。



シロハラクイナ
全長33cm
中型のクイナ。
クイナは飛べない
と勘違いされる

が、飛べる。ただ、ヤンバルクイナだ
けは飛べない。

とび出し
注意!!



ウツジャ、ウツア
ミフズラ
全長14cm

実はウズラでは
なく、ウズラに
似た形の別の種。一妻多夫制で、メス
はオスの作った巣に卵を産むと次のオ
スを探して去り、残ったオスが卵を温
めて子育てをする。



メス→
イソヒヨドリ
全長23.5cm

いそ いわ ば
磯の岩場がすみ
かだったが、建

物を崖に見立てて営巣するように
なった。春～夏にかけて子育て中の
ペアをあちこちで見ることができる



リュウキュウ
キビタキ
全長14cm

宮古諸島では
2000年以降に
毎年繁殖が確認されている。キビタキ
の亜種とされていたが2024年に新種
となった。



ウズラのゆがたい
『ゆがたい 宮古島の民話 第四集』宮古民話の会(1984)



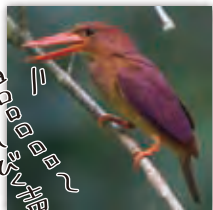
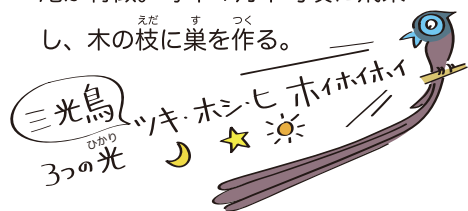
サンコウ チョウ



全長 オス 45cm
メス 17.5cm

宮古島市保全種(2005)

オスの鮮やかなアイリングと長い尾が特徴。毎年4月中旬頃に飛来し、木の枝に巣を作る。



アカショウビン

全長27cm



宮古島市保全種(2005)

カワセミの仲間。

毎年5～6月に飛

来し木の洞などに巣をつくる。赤色の大きなクチバシと独特な鳴き声の特徴。体の色が火を連想させることから、昔の人はアカショウビンが家に入ってくると不吉だと嫌がった。

かんさつのコツ・気をつけること

名前^{なまえ}は分からなくともいい。

どこにいる？
どんな
ようす？

大きさは？
鳴き声は？
色は？

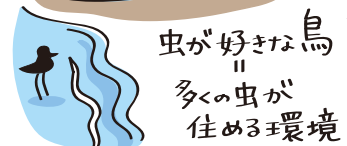
親子かな？
つがひかな？
何を食べて
いるのかな？
1匹かな？
群れかな？

子育て中は
近づかない!!!

ストレスで
ヒナをおいて
巣を捨ててしまうことも。
ベニアジサシのように、二度と
そこで巣を作らないものもある。

遠くから
しすかに
そーっと

小さな声や
羽音を
楽しもう。



虫が好きな鳥
多くの虫が
住める環境

種ごとに住む環境を変えて共存することで、
何千種もの鳥がくらしていている。なので
どんな鳥がくるかでその環境がわかる。

アジサシ類

アジサシ類は世界で40種が知られ、宮古諸島ではこれまで14種のアジサシ類が夏鳥や旅鳥、迷鳥として確認されています。日豪(オーストラリア)渡り鳥保護協定によって保護されているベニアジサシや、絶滅が危惧されているコアジサシ、エリグロアジサシもいます。

エリグロアジサシ

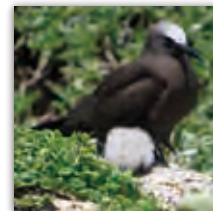


全長30～32cm

環境省RL(2020)絶滅危惧Ⅱ類
水産庁RDB希少種
沖縄県RDB(2017)準絶滅危惧
宮古島市保全種(2005)

海岸の岩礁や沖合の
岩礁に巣を作る。

クロアジサシ



全長38～45cm

宮古島市保全種(2005)

宮古諸島が国内
繁殖の北限。岩
礁や岩棚に小石
や海藻で皿状の
巣を作る。

ベニアジサシ



全長33～43cm

環境省RL(2020)絶滅危惧Ⅱ類
沖縄県RDB(2017)準絶滅危惧
宮古島市保全種(2005)

岩礁に小石や枯葉
で巣を作る。環境
の変化に敏感。

マミジロアジサシ



全長35～38cm

宮古島市保全種(2005)

岩礁の割れ目や
岩棚の奥まった
ところに直接産
卵する。

コアジサシ

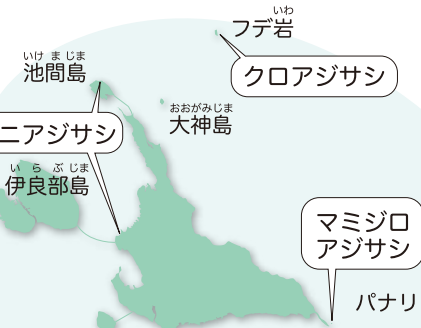


全長22～28cm

環境省RL(2020)絶滅危惧Ⅱ類
宮古島市保全種(2005)

埋立地などの地面
に浅いくぼみを掘
り、産卵する。

主な繁殖地



水納島

コアジサシ

エリグロ
アジサシ

池間島、大神島、
伊良部島、与那覇湾や東平安名崎の岩礁

マミジロ
アジサシ

バナリ

